

① 住民アンケートに関する検討会議

（１）取組目標

市町と県が住民ニーズを的確に把握するための住民アンケートの調査方法を研究することで、担当者の専門性を高めます。

- ①住民アンケート作成についての基礎知識・ノウハウの学習
- ②平成20年度「住民アンケート調査のあり方と活用に関する検討部会」で検討した成果の情報共有
- ③住民アンケート調査と他の広聴手段との連携についての検討

（２）検討メンバー

市 町		県
津市／市民交流課	四日市市／広報広聴課	政策部企画室
松阪市／政策課	桑名市／広報広聴課	政策部交通政策室
名張市／総合企画政策室	尾鷲市／市長公室	政策部「美し国おこし・三重」推進室
亀山市／広報秘書室	志摩市／企画政策課	
伊賀市／企画調整課	菰野町／企画情報課	
朝日町／総務税務課	大台町／企画課	
度会町／政策調整室	紀北町／企画課	

助言者●皇學館大学／藤井 恭子 准教授
 事務局●県政策部 企画室

（３）現状及び課題

少子高齢化の進展、県と市町の役割分担の変化、雇用経済情勢の悪化等、地域社会を取り巻く環境が大きく変化している中、県民ニーズを的確に把握した効率的で効果的な行政運営が求められています。

（４）開催実績

- 第1回 平成21年7月21日 住民アンケート実践講座
 協議等計画書により今後の進め方説明
- 第2回 8月24日 住民アンケートで抱える課題等について
 住民アンケート調査のあり方と活用に関する検討部会報告書について
 アンケート調査についての事例報告
- 第3回 9月15日 アンケート調査についての事例報告
 「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」による

比較検討について

- 第4回 11月13日 アンケート調査についての事例報告
住みやすさ等アンケート結果の比較について
- 第5回 平成22年 1月8日 アンケート調査についての事例報告

(5) 検討状況

三重県の一万人アンケートを事例として、「住民アンケート実践講座」を開催し、アンケート作成のポイントを学ぶなど担当者の専門性を高めるための勉強会を実施しました。

各市町等で抱える課題、会議で検討したい内容や昨年度実施した「住民アンケート調査のあり方と活用に関する検討部会報告書」の情報共有、設問及び選択肢等についての意見交換を行いました。

5市2町と県（津市、四日市市、亀山市、志摩市、伊賀市、朝日町、度会町、県交通政策室）の事例を通じて、課題の整理を行うと共に事例研究を実施しました。

「郵送法によるアンケート」と「インターネット等による電子アンケート」による「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」の比較については、電子アンケートである「e-モニターアンケート」を「平成21年度一万人アンケート」の同一の設問とすることで、回答率、フリーコメントの内容を比較し、電子アンケートの有効性を検証しました。

直近に総合計画に関するアンケートを実施した4市（津市、四日市市、名張市、伊賀市）と一万人アンケートの「住みやすさ」や各項目の「不満意識」の結果を、設問内容と回答者から見た設問範囲を考慮して比較検証しました。

住民アンケート実践講座で提案された一万人アンケートに対する改善案を参考として、一万人アンケートの見直し案を作成し、設問内容、選択項目など回答者が理解しやすく、回答しやすい調査票について意見交換を行い、平成22年度の一万人アンケートの見直しに反映しました。

(6) 取組成果

アンケート作成のポイントを学ぶために「住民アンケート実践講座」の実施や5市2町と県が実施した住民アンケートの設問内容や結果の活用方法等について、事例研究、意見交換を行うことで、県と市町のアンケート担当者の専門性を高めることができました。また、一万人アンケートについては、

市町担当者、助言者の改善案を参考に設問内容、方法の見直しを行いました。

(7) 今後の方針

検討会議による検討は、本年度で終了しますが、引き続き平成 22 年度に住
民アンケート担当者の専門性を高めるための研修を実施し、県、市町の担当
者の基礎知識やノウハウを共有する場づくりに取り組みます。

(8) 取組に対する自己評価

取組目標に対する成果が概ね発揮されました。

(判断理由等)

住民アンケート作成についての基礎知識・ノウハウの学習、平成 20 年度の取組成
果の情報を共有することができました。また、住民アンケート調査と他の広聴手段と
の連携について、電子アンケートの有効性の検証には取り組むことができましたが、
それ以外の広聴手段との連携についての検討に取り組むことができませんでした。